

## 2012 年度第 2 回

# 日本社会福祉学会関東部会運営委員会 議事録

日時：2012 年 9 月 19 日水曜日 18:30-21:00

場所：日本社会事業大学文京キャンパス

出席委員(敬称略)：大島、福山、荒井、小野、北本、佐藤信人、高橋、田嶋、月田、山田、贅川  
事務局：大山

## 報告：

### 【大会担当】

- ・大正大学において、2013 年 3 月 9 日に開催することが決まった。
- ・会場について、同一棟で設定するなら分科会は 7 会場になる。
- ・スタッフを各大学院生から募集する必要がある。

### 【ホームページ】

- ・7 月末までに評論の著作権の許可公示を終了
- ・8 月中旬からサイトで、フルテキストが閲覧可能となり一通りすべての電子化が終了
- ・アクセス数が増加している。

### 【ニューズレター】

- ・検討会を持った。当面、紙媒体のニューズレターを残す。

## 議題：

### 1. 2012 年度関東部会研究大会について

【開催地】大正大学、実行委員長：山田氏

- ・大会テーマ：ポスト 3.11 における社会福祉学(案)  
→3.11 以降の福祉実践、教育のあり方、何か変わったのか、災害 SW など新しい分野も開拓してはどうか

### 【記念講演】

- 案①災害 SW の話をいただいて、それを受けてどう今後考えていくかなど震災関係
- 案②生活支援戦略、社会保障との一体改革と社会福祉がどう絡んでいくか新しい時代の社会福祉学研究、生活学派のテーマなど。

### 【テーマ・シンポジウムなどについて各委員より】

- ・災害 SW が明確に地域福祉の中でも位置づけられる必要がある。そういうものを含めた、就労支援、生活支援、それに対して実践も理論もどう組み入れて再構成させているのか
- ・実践の中では阪神大震災、新潟震災を経験してきたのに、また 3.11 でも同じことを繰り返している。医学分野では共通言語を発信しているが福祉分野では難しい  
→心理、医学や建築系など他領域で福祉に精通している先生にお願いする
- ・アカデミックな分野の分科会を持ちつつも、基調講演などは聞きたいと思ってもらえるような会にする必要がある。
- ・震災と原発は別問題。被災地復興の街づくりと福島の問題を考える必要がある
- ・クライストチャーチでも同時期に震災があった。どう復興しているのか
- ・震災前、震災直後、それぞれでセーフティネットは異なるのではないのか  
→セーフティネットとは？伝達の課題、時系列に見る必要がある
- ・支援者支援のあり方について  
→できないところに、できると思っていく、でも何もできないという支援者の喪失感

も重要な課題

→支援者支援で行った人が相手の被災者に何しに来たと言われて、言葉に詰まった話を聞いた。援助と支援の違いを明確にする必要がある。

- ・生活をどう組み立てて行くか、すぐの直接支援だけではない
- ・生活保護 200 万人時代の課題なども重要な課題
- ・基調講演とシンポジウムがつながるように。

⇒上記を踏まえて、大会企画委員会・実行委員を組織し、検討する。決まり次第サイトにアップする

#### 【自由研究報告】

- ・今は 1 時間(発表・質疑各 25 分)枠を設けているが今年度の時間配分をどうするか  
→結論：従来通りとするが投稿状況を見ながら、時間枠組みなど再検討する

## 2. 社会福祉学評論の発行、編集委員会関連

#### 【投稿論文の状況】

- ・今年度 1 件、投稿予定 1 件

#### 【社会福祉学評論 11 号(2012)の完成】

- ・サイト上にもアップしている
- ・CiNii への掲載は紙媒体の出版物が必要

#### 【投稿の呼び掛け】

- ・座長推薦者を中心にメールで呼び掛けた

#### 【福祉系大学の寄贈について】

- ・図書館事情によって紀要は置かないようにしているところもあるが、学会誌なので福祉系大学の事情を調査して進めて行く

## 3. ホームページの改訂、バックナンバーの電子ジャーナル化について

- ・上記報告の各部会活動報告の欄を参照

## 4. ニュースレターの発行について

- ・紙媒体のニュースレターの発行を継続する。発行時期は 3 月研究大会時か、新年度の 5 月～6 月。今年度の発行計画は、12 月の運営委員会で検討する。

## 5. 今年度の関東地域部会運営委員、監事、経理担当者、その他の役割分担

- ・三田寺先生(淑徳短大)辞退
- ・佐藤信人先生(武蔵野大学)：大会担当

## 6. 研究奨励賞

- ・研究大会の自由研究報告の中から選定する案が検討された。次回運営委員会で検討する。

次回：2012 年 12 月 19 日(水)18 時 30 分-

以上